

(様式 1)

年 月 日

□研究倫理審査依頼書・□研究実施許可申請書

国立研究開発法人国立がん研究センター研究倫理審査委員会 殿
国立研究開発法人国立がん研究センター理事長 殿

研究代表者 所属組織:
所属部署:
職 名:
氏 名:

国立がん研究 所属組織:
センターの 所属部署:
研究責任者 職 名:
氏 名:

国立研究開発法人国立がん研究センター研究倫理審査委員会標準業務手順書に基づき、以下のとおり新規研究の実施につき、研究倫理審査の依頼及び研究実施許可申請いたします。

なお、以下に該当する場合は、研究倫理審査の依頼又は研究実施許可申請のみ行います。

1. 多機関共同研究の一括審査の場合、国立がん研究センター以外の研究機関は研究倫理審査の依頼のみ
2. 国立がん研究センターの研究責任者が他機関の倫理審査委員会で審査を受けた場合、研究許可申請のみ

0 研究課題番号

1 研究課題名 ※略記号がある場合、課題名の頭に付記のこと (例 JCOG9876:~)

研究課題名の略記号、呼び名等:

2 提出資料

- 研究計画書: 必須
作成日: 年 月 日 第 版 (バージョン)
- 倫理指針適合性確認書: 研究計画書用 (研究者記載用): 必須
- 説明同意文書: 使用時必須
作成日: 年 月 日 第 版 (バージョン)
- 倫理指針適合性確認書: 説明同意文書用 (研究者記載用): 使用時必須
- 研究概要の公開文書: 使用時必須
作成日: 年 月 日 第 版 (バージョン)
- 一括審査依頼書: 使用時必須
作成日: 年 月 日
- その他

※研究計画書、説明同意文書、研究概要の公開文書には、作成年月日及び版 (バージョン) を記載すること。
※有害事象共通用語規準 CTCAE は、提出不要。

3 国立がん研究センターとしての研究管理部門の長 (科長/分野長/部長等)

氏名 _____ 所属部署 _____

事務局記載欄

受付番号:
審査種別:
選定理由:
その他の特記事項:

• **補償措置の必要性** 有 無 ※有の場合は以下の項目を記載

臨床研究補償保険への加入： ※賠償責任保険のみの場合は、「無」を選択。

有 無 →「軽微を超える侵襲且つ介入を伴う研究」の場合は、健康被害が生じた場合の補償措置を記載（当該研究への参加に伴う健康被害の治療費を、研究費から補填、病院から補填等）
補償措置の内容（_____）

• **臨床試験** 該当しない 該当する

• **臨床試験登録の有無** ※医学系指針に基づく、日本の登録サイトへの登録状況

有 登録予定 無 ※有の場合は登録先/登録No.を以下に記載

登録先： jRCT UMIN-CTR その他（_____）

登録No.：

• **対象がん種**（ _____ , _____ , _____ ）※臨床試験の場合、記載必須

• **モニタリングの有無** 有 無 ※セントラルモニタリング含む

• **監査の種別** 監査は行わない
恒常的研究グループの監査
研究計画個別の監査

• **研究資金の有無** 有 無 ※有の場合、以下の該当箇所に詳細情報を記載すること

公的研究費：

研究費種別	研究代表者名	所属先	研究費番号
<input type="checkbox"/> 国立がん研究センター研究開発費			
<input type="checkbox"/> 日本医療研究開発機構研究費（AMED）			
<input type="checkbox"/> 厚生労働科学研究費			
<input type="checkbox"/> 文部科学研究費			
<input type="checkbox"/> 科学技術振興機構研究費（JST）			
<input type="checkbox"/> 新エネルギー・産業技術総合開発機構研究費（NEDO）			
<input type="checkbox"/> その他の公的研究費 [_____]			

その他の費用：

費用提供団体（直接、間接とも記載要）※：

費用名・費用種別（必要時）：

※団体が企業以外の場合：

① 団体の資金源に企業資金が含まれるか 有 無

② 本研究のために企業から団体への資金提供があるか 有 無

②が有の場合：企業名

• **研究契約の有無、関連情報**（予定含む） 有 無

契約の種別：※[]内に、契約先名と、契約の管理番号がある場合は番号を記載すること

共同研究契約

[契約先： _____、管理番号： _____]

受託研究契約（企業依頼研究）

[契約先： _____、管理番号： _____]

研究支援契約（研究者主導研究。契約形態が委受託契約の場合含む）

[契約先： _____、管理番号： _____]

5 倫理的事項

5.1 社会的に弱い立場にある者を研究対象とする場合の特別な配慮（例：未成年者、職員等）

対象としない 対象とする ※対象とする場合は以下の項目を記載

対象：未成年者 職員 その他（_____）

対象とする妥当性：

特別な配慮の内容：

5.2 研究対象者に理解を求め同意を得る方法

個別同意 →文書 口頭（診療録等に記録）

アンケート・インタビューへの回答（質問票等で記録）

その他（_____）

個別同意なし →国立がん研究センター包括的同意

国立がん研究センター検診受診者包括的同意

他の研究からの二次利用（他研究で二次利用同意がある場合）

同意を取得しない

その他（_____）

個別同意なしの場合、研究対象者への拒否の機会を与える具体的な方法や倫理指針の同意取得免除規定を適用させることの妥当性に関する説明を以下に記載（情報公開含む）：

5.3 個人情報の保護への取り組み

加工の有無：有 無

研究に用いる個人情報・個人を特定しうる情報：

※研究データ（解析時）に用いる情報を選択又は記載のこと

（症例報告書などに記載する情報を指す。対応表のみでの利用は含まない）

研究登録番号 カルテ番号 生年月日 イニシャル

氏名 住所 電話番号 その他（_____）

取り組みに関する詳細（対応表の管理者、保管場所等）は以下に記載：

6 国立がん研究センター研究者の利益相反

6.1 国立がん研究センターにおける研究責任者による研究者の利益相反管理状況

研究責任者は、「7 国立がん研究センターの研究者リスト」の研究者全員より利益相反に関する状況について報告を受け把握した。

同、現時点（研究許可申請時点）では報告を受けていない。至急対応する。

6.2 研究責任者による研究者の利益相反への対応状況（「5 研究区分/属性 研究目的」の項で「医薬品/医療機器の有効性または安全性評価を目的とする」を選択した場合に記載）

透明性確保のために必要な対応（研究計画書への記載等）を実施した。

透明性確保のために必要な対応はなかった。

その他 詳細：

